

# 和歌山県有田市

## 青みかん（摘果みかん）の価値を上げる



### 【地域の基礎データ】

人口：27,197人（令和3年2月1日現在）

高齢化率：33.8%（令和2年1月1日現在）

産業：農業（みかん）、漁業（太刀魚）、工業 など

### 【活動の基本情報】

参加学生数：12名（1回生：6名、2回生：6名）

活動期間：令和2年6月～

担当教員：藤井至

### 1. 活動実施の経緯

有田市では地域住民や一般企業などと協働して有田みかんの更なるブランド化や販路開拓支援、ふるさと納税を活用したPRなど、みかん産業支援を積極的に実施している。そこで、これまで実施してきた取り組みを踏まえた新たなチャレンジとして、毎年みかん収穫前にみかんの大きさを揃えるために成りすぎた果実を減らす作業（摘果作業）によって捨てられている「青みかん（摘果みかん）」の価値向上に取り組むことをLIPの活動目的とした。また、令和2年3月に有田市宮原町の旧駐在所をリノベーションして誕生した地域交流拠点「宮原さん家(ち)」を活動拠点とし、その活用についても検討することとなった。

### 2. 活動の内容

新型コロナウイルス感染症の影響により、限定的ではあったがオンラインを活用し、以下の活動を行った。また、顔合わせ・事前学習会以降は、地域の課題・学生のニーズを受け、商品開発班・レシピ作成班・イベント企画班の三班に分かれて活動を展開した（その後、活動広報の必要性から広報班も設置）。

- ・顔合わせおよび事前学習会：宮原地区・みかん産業・青みかんを学ぶ
- ・班ごとの会議および企画プレゼン会：学生の事前学習による企画プレゼンと意見交換
- ・フィールドワーク：プレゼン会での意見を受けてヒアリング調査を実施
- ・最終プレゼン会（報告会）：今年度の活動を総括し、次年度の活動を提案

### 3. 活動を通じて

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、本来予定していた活動が出来なかった中で、オンラインを活用し可能な限りの活動が展開された。今年度は、主に準備期間という位置づけとしたため、次年度以降、状況にもよるが具体的な取り組みが展開されることを期待している。

## 4. 成果物（ポスター）



# 宮原青みかんLIP

### 宮原青みかんLIPとは？

宮原青みかんLIPは今年から新しく始まった活動です。全国に高いブランド力を誇る「有田みかん」ですが、収穫の前に大きさを揃えるために「青みかん」と呼ばれる段階で実が捨てられてしまいます。その「青みかん」の価値を上げるという目的を掲げ、宮原青みかんLIPは作られました。青みかんを使用したレシピ・商品の開発をするとともに、令和2年3月に有田市宮原町の旧駐在所をリノベーションして誕生した地域交流拠点「宮原さん家」を拠点としたイベントの企画を地域の方とともに進めています。

### レシピ班

レシピ班では、摘果みかんで「美味しく、おしゃれ」なレシピを考案しています。レシピを考案するにおいて、難しい点は普段、私たちが日常で食べているみかんとは異なり、摘果みかんは苦味と酸味が強いという点です。しかし、この点は利点にもなります。レシピ班は、摘果みかんの特徴を活かしたレシピをこれからもどんどん考案していきます。11月に行ったヒアリング調査では、摘果みかんを利用したレシピに対して、宮原地区の住民に意見をいただきました。この意見をもとにこれからもレシピ開発を進めます！



### 商品開発班

商品開発班は、食品系・美容系・雑貨系・生活用品系の4つの面から取り組んでいます。今年度の夏には摘果みかんを使用したポン酢・フルーツソース・リップクリーム、乾燥させた摘果みかんを使用したレジン・入浴剤を試作しました。また、早稲田地区に訪問した際には、商品開発に携わる大浦さんに商品開発のコツなどをお聞きし、試作段階の商品の試食・試飲もさせていただきました。今後は、それらを参考に試作の改善を行っていきます。



### イベント企画班

イベント企画班では、宮原さん家を活用したイベントを考案しています。新型コロナウイルスが流行する中、いつ開催されるかわからないイベントを企画することに苦労しましたが、「地域の方が大切にしてくれたもの」に重点を置き、ターゲットやイベント開催の目的を絞ってきました。実際に現地を訪ねた際に伺った宮原町の方の地元への想い、そしてこれから先どのような街になってほしいかと言う考えに沿ったイベントを実際に開催したいと思います。



### 広報班

広報班は、地域の方々に「青みかんの価値を上げる」という活動を知ってもらうために発足した班です。Instagramを始めとしたSNSにより、自分たちのLIPの活動内容や青みかんについて知ってもらうことを目標としています。また、自分や自分たちで作成したチラシなどで、考案したイベントや商品、料理を発信していく予定です。今後は、LIPのシンボルを考えたのち、どんどん投稿していきます。見かけた際には読んでいただくと幸いです。

### 今後の課題

今年度から活動が始まり、今年は特に青みかんや宮原地区への理解を深めることに重点を当てて活動をしました。地域の方から青みかんについて説明を受けたり、実際に現地を訪問して宮原地区の雰囲気を知ったりすることで、商品やイベントのイメージを作っていくことができました。来年度は、今年度作った商品・レシピ・イベントの案を実際に試作し、改善していく段階に入っていきます。地域の方と意見を活発に交換し合いながら、より良い案を出していきたいと考えています。